

# 施策評価表

1次評価日（課長等） 26年 10月 30日

2次評価日（部長等） 26年 10月 30日

## 1 施策の概要

施策名	公共交通網の整備	コード	14-2
この施策の主な内容（細施策）	①公共交通の整備		
第4次総合計画におけるこの施策の目的	市民が利用しやすい交通システムの構築		
担当部課	部 経済部	課等 商業観光課	作成者 小口典久

## ●施策の実施内容（D0）

### 2 施策指標の達成状況

\*第4次総合計画における目標指標の達成状況（最終年度：25年度）

施策指標名	単位	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度	
		実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値	目標値
① シルキーバス1便平均乗車人員	人	8.5	6.1	10.0	8.3	83.0%	10.0	10.0
指標説明	バス利用者の利便性を高めることにより乗車人員の増加を図る。							
② スワンバス1便平均乗車人員	人	16.1	16.1	20.0	15.7	78.5%	18.0	18.0
指標説明	バス利用者の利便性を高めることにより乗車人員の増加を図る。							
③						#DIV/0!		
指標説明								

### 3 施策全体にかかる合計コストの推移

\*項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位：千円

	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）
直接事業費	2,126	2,026	53,646	52,888
人件費	5,040	5,040	5,040	5,040
合計コスト	7,166	7,066	58,686	57,928

## ●施策の評価（CHECK）

### 4 施策の現状評価

\*25年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

民間による路線バスが減少し、地域コミュニティの足として公共交通網の重要性は増しているが、シルキーバス、スワンバスともに利用者が限られてきており減少傾向にある。通勤通学者の利便性を図るためJR岡谷駅やスワンバスへの乗り継ぎに考慮したダイヤ編成にしたが、送迎も多いため利用増に繋がっていない。  
より市民が利用しやすい公共交通体系を検討するため地域公共交通活性化協議会が組織され、路線等の見直しがされている。  
高齢化が進行するなか、福祉施策としてのふくしーのあり方も含めて検討が必要となっている。

\*岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	市街地がまとまっており、主要な公共施設が中心部に集中している。
岡谷市の弱み	幅員の狭い道路と一方通行が多くバスの運行が難しい。徒歩で通勤通学が可能である。

### 5 今後の外部環境の変化

\*27年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	高齢化の進行による交通弱者の増加。広域観光の取り組みによる観光客の増加。地球温暖化等環境への関心の高まりによる公共交通の見直し。
不利に働くもの	国・県の助成制度の見直しにより財源の確保が難しい。

●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

6 平成27年度 施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

\* 優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由  
 \* 見直しを行う分野＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	【コミュニティーバス運行事業】 通勤通学者の利用者を増やすため、JR及びバスワンの接続を重視したダイヤの見直し。土日祝日に運行し、1便平均5人に満たない、朝夕の便を休止。
見直しを行う分野	

●27年度の優先度

\* 事務事業の方向性が「継続」の事業についてA～Cにランク付け  
 A：拡大、B：現状維持、C：見直し、－：廃止・完了・統合

直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標	指標名	単位	直接事業費			妥当性	方向性	優先度
								人件費					
								23年度	23年度	23年度			
								24年度	24年度	24年度			
1		一般	なし	コミュニティーバス運行事業	年間総輸送客数	人	143,086	2,126	5,040	高い	継続して実施	A：拡大	
							153,550	2,026	5,040				
							154,750	53,646	5,040				
							154,000	52,888	5,040				
2	公共施設	なし	岡谷駅前広場管理事業	施設稼働率	%	100.0	6,968	1,600	標準	継続して実施	B：現状維持		
						100.0	6,968	1,600					
						100.0	5,159	1,600					
						100.0	5,415	1,600					
3	公共施設	なし	自転車駐車場管理事業	施設稼働率	%	100.0	10,899	1,600	標準	継続して実施	B：現状維持		
						100.0	10,986	1,600					
						100.0	10,227	1,600					
						100.0	10,615	1,600					
4	内部	なし	交通バリアフリー整備事業	-	-	-	0	800	低い	26年度より統合	統合		
						-	0	800					
						-	0	800					
						-							
5	一般	なし	地域公共交通活性化再生総合事業	シルキーバスの1日あたりの利用者数	人	360	25	3,200	高い	継続して実施	C：見直し		
						392	14	3,200					
						423	7	3,200					
						408	95	3,200					
6													
7													
8													
9													
10													